

事業名	中小企業団体指導費	財務コード (事業)	094404
細事業名	商工団体活性化推進事業費(中央会)		
担当部課室	産業労働 部	産業政策 課	商工団体 担当 (内線) 4569

## I 事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(山梨県中小企業団体中央会)		
事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県内中小企業組合	活動が活性化している	県内経済の活性化
事業の内容 ※主に 23年度	山梨県中小企業団体中央会が県内中小企業の組合の活動の活性化を図ることを目的に、重点的に取り組む事業に助成する ・補助率: 定額、1/2 ・主な事業実績 ・地場産業振興事業(中小企業組合まつり 開催 3月4日) 出展92組合、介護福祉フェア合同開催による出展60企業 合計152組合・企業 ・その他(人件費) ・補助金額 6,907千円		
根拠法令等	山梨県商工団体活性化推進事業費補助金交付要綱		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 中小企業組合まつり の出店団体数	東日本大震災のため 直前で中止	100	92	100	100	活動指標 目標設定の考え方 連係組織化の促進を目的とする事業であり、会場等の制限範囲の中でより多くの参加を目標とする。 データの出典等 H23実績報告書、H24申請書
	活動指標達成率 (実績値/目標値)		92.0 %			
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		%			
決算額、予算額 (千円) うち一財額	6,861		6,807	6,771	6,683	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	30 時間		30 時間	30 時間	30 時間	中小企業組合まつりは、和菓子の武田兵糧丸、郡内織物の新作ネクタイ、Koo-fuコレクションなど各組合を代表する製品の展示・販売や、エアバックの爆発実験による自動車点検整備の推進、整体治療体験、味噌づくり体験など、各組合が地場産業製品や技術、サービスを消費者にアピールし、販売促進につなげることで、中小企業組合活動の活性化に寄与している。
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	30 時間		30 時間	30 時間	30 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	61		61	61	61	

## III これまでの事業の見直し・改善状況

平成18年度までは、「商工団体育成強化費補助金」として、包括的な育成強化に努めていたが、同年の政策アセスメントにおいて、所期目的を達成していることからこれを廃止し、本事業として平成19年度から新たに「商工業の活性化に重点的に取り組む分野への支援」を行うこととした。

#### IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること
	b	県内92の中小企業組合が参加した「中小企業組合まつり」は、和菓子の武田兵糧丸、郡内織物の新作ネクタイ、Koo-fuコレクションなど各組合を代表する製品の展示・販売や、エアバックの爆発実験による自動車点検整備の推進、整体治療体験、味噌づくり体験など、各々の組合が地場産業製品や技術、サービスを消費者にアピールし、販売促進につなげることで、中小企業組合活動の活性化に寄与しており、意図した成果はほぼ上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

#### V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
無		

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

#### VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。